

農山漁村イノベーション都道府県サポート事業業務委託  
公募型プロポーザル選定委員会議事録（議事要旨）

項 目		内 容
1	日 時	令和6年4月9日（火）9時00分から12時00分まで
2	場 所	書類審査のため、各委員に持ち回り
3	出席委員	農林水産局部長（農水産振興担当） 農林水産局農業経営発展課長 農林水産局畜産課長 農林水産局水産課長 農林水産局販売・連携推進課長 商工労働局イノベーション推進チーム中小・ベンチャー企業支援担当課長
4	議 題	農山漁村イノベーション都道府県サポート事業業務委託の選定
5	担当部署	農林水産局 販売・連携推進課
6	開催方法	持ち回り
7	議事内容	<p>農山漁村発イノベーション都道府県サポート事業業務委託の選定にあたり、選定員の意見を取りまとめた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕様書には「農山漁村発イノベーション」とは農山漁村の地域資源を最大限に活用し、これまでにない他分野と組み合わせる取組等により新たな事業や雇用を創出する取組とあるが、企画提案書には「これまでにない他分野との組み合わせ」に関する提案があまり見られない。「新たな事業の創出」については、実績から成果が期待できる。</li> <li>・過去からの実践内容やアンケート結果などを提案させることで、提案内容の適正さの判断材料に加えるとともに、実行力を見極める基準としたい。複数者が提案する場合は、比較検討の材料にもなる。</li> <li>・イノベーションサポートが能動的なのか受動的なのか企画書からの理解が困難であった。過去の実績件数からは十分認識できたが、その後のフォローや支援後の結果の記載があった方が効果を表現できるのではないか。</li> <li>・仕様書に書かれている委託業務内容について、具体的な取組がすべて記入できている。</li> <li>・幅広い専門分野のプランナーが複数配置されており、支援対象者の経営改善に的確に対応できることが期待される。</li> <li>・過去の関連事業の実績が十分であり、目標達成に向けての着実な取組が見込まれる。</li> <li>・農林水産事業者の現状課題の記載が不十分と思われる。デジタル技術を活用した、農業経営のバリューチェーンの分析・課題解決にしっかり対応していただきたいと考える。特に付加価値も含めた生産性の向上の取組に、農林水産事業者のデジタル技術の活用をサポートをお願いしたい。</li> </ul>